

外国医師等が行う臨床修練病院等指定	2
総合心療センター長交代 戒正司・明神和弘	3
ソロ1stアルバムリリース 山田あかりさん	5
パワーアップした近森病院 歯科 岸本 智子	11
岡田玲一郎先生を偲んで 川添昇	16
腎透析センター医師着任 吉村和修	22
99歳心臓手術 橋本静子さん	22

目次

www.chikamori.com ● 高知市大川筋一丁目1-16 tel. 088-822-5231
発行●2020年4月25日 発行者●近森正幸 / 事務局●寺田文彦

近森病院に呼吸器外科を創設しました



直視ではなく胸腔鏡を用いたハイビジョン拡大鏡手術を活用し、肺癌や縦隔腫瘍、自然気胸治療を。
～外来診療 木曜日午前 / 手術日 火曜日～

近森病院 呼吸器外科

部長 森山 重治

岡山赤十字病院にて 呼吸器外科を立ち上げ

4月1日より新たに呼吸器外科部長として着任しました森山重治です。近森病院ではこれまで高知大学第2外科から穴山貴嗣先生に週1回木曜日に診療して頂いていましたが、このたび呼吸器外科を創設することになりました。

私の経歴を少しご紹介します。



● 特長 ●

ハイビジョン拡大鏡で術野を確認するため、肉眼で行う胸腔鏡補助下手術と比べ切開部分は半分の3センチほどで済む。呼吸をする筋肉を切らなくてよく、肋骨も開かないことから痛みも少ない。傷跡が目立たないなどメリットがある。

▲◀完全胸腔鏡手術。



1954年7月生まれの65歳です。1980年に岡山大学医学部医学科を卒業し当時の第2外科に入局しました。医学部講師を経て、1995年(40歳)に岡山赤十字病院に赴任し呼吸器外科を立ち上げました。約25年間勤務しこの3月で定年退職しましたが、がんセンター長(がん診療連携拠点病院)、気胸センター長など、最後の3年間は副院長、医療安全推進室長(GRM)、DPC / PDPS 委員長なども兼務していました。

胸腔鏡手術実績 1,500 例

私が得意としているのは胸腔鏡手

術です。神奈川以西では最初に肺癌に対する胸腔鏡手術を開始し、岡山赤十字病院ではほぼ全ての症例が胸腔鏡手術の対象でした。



日本胸部外科学会のシンポジウムで、胸腔鏡派の代表として当時がんセンター中央病院呼吸器外科部長の浅村先生(現慶應大学呼吸器外科教授)と肺癌に対する胸腔鏡 vs. 開胸手術のディベートをしたのは思い出に残っています。

2006年には、肺癌に対する胸腔鏡下手術の功績が認められて、「山陽新聞社会事業団 第11回松岡良明賞」を受賞しました。定年直前になりましたが、今年2月12日には胸腔鏡下解剖学的肺切除術(部分切除を除く葉切除・区域切除)1500例を達成することができました。この症例数は全国的にも数人しか達成していない

次頁へ続く

前頁から続く

い誇れる数字です。

学会評議員や理事も務めて

また、学会関連では評議員や理事として各種委員会活動に深く関わってきました。それらの集大成として2018年8月には第22回日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会を岡山で主催することができました。

直視ではなく胸腔鏡を用いた
ハイビジョン拡大鏡手術

通常、定年の歳になると外科医は視力と体力が伴わずメスを置く人が大半ですが、私の場合、直視でなく胸腔鏡を用いてハイビジョンテレビ

(または4K)で拡大視して手術するため視力は問題ありません。体力面では、今でも毎週土・日曜日の午前中は岡山市にあるラストットテニス



クラブで中高年の仲間たちと硬式テニスをしています。人生100年の時代、あと5年70歳までは現役で手術を続けるつもりです。

木曜午前に外来診療、
火曜日に手術を

さて、診療体制についてですが、当初は週1回木曜日の午前中に外来診療、火曜日を手術日にして運用したいと思います。病棟は本館5階B・C病棟になります。症例が増えてきたら随時広げていく予定です。また、大学人事の都合で当面呼吸器外科は私一人ですので、特に若い研修医の先生には無理を承知で手術の手伝い

をお願いすることになると思います。何卒ご協力の程、宜しくお願い致します。

高知県 近森病院における展望

高知県は国内でも有数の高齢化先進県と聞いています。人口も年々減少傾向にあるようです。しかし、私のいた岡山市では人口約80万で年間400例以上の肺癌手術が行われています。

高知県にはまだまだ手術可能な肺癌症例が埋もれていると思われます。検診システムの拡充やかかりつけ医の先生との連携、救急で受診した自院症例のスクリーニングだけでも肺癌や縦隔腫瘍は発掘できると思います。また、近森病院は救命・救急センターで自然気胸の患者さんも多いと思います。

岡山赤十字病院では2012年に気胸センターを開設し、24時間365日、原発性・続発性を問わず受け入れていました。手術適応などマネジメントに困ったときは是非、呼吸器外科に相談していただければ幸いです。当初は症例がなくて苦しむと思いますが、徐々に症例を増やし、できるだけ早い時期に後任を招請し、私の経験と技術を伝承して近森病院における呼吸器外科を確固たるものにしたいと考えています。

もりやま しげはる

5月の歳時記

藤 (フジ)

近森病院 総合心療センター 5階
看護師 主任 堀尾 恵

春になると紫の花を咲かせるフジは、古くから日本に自生している植物です。清楚でありながら華やかさのあるその姿は万葉集が書かれたころから人々を魅了してきました。高知の山には自生しているフジも多く、山を見上げると紫色の花を咲かせたフジの花に出会えるかもしれませんね。

ほりお めぐみ

▼岡山県の藤公園にて撮影

臨床検査部
ユニフォームがかわりました

4月20日より着用開始しています。



◀以前の濃い紫色から優しい色合いへ

～近森病院 施設認定～



近森病院 総合心療センター センター長交代

近森の精神科チーム医療 という文化

近森病院 総合心療センター
新センター長 戎 正司



この度 27 年ぶりに当院総合心療センターに戻ってきました。私がいたのは古い建物の第二分院で、まるで浦島太郎の心境です。

しかし、田村先生、明神先生と引き継がれ発展した当院精神科の医療文化は、私がいた 30 年前からずっと貫かれている専門家集団による徹底した精神科チーム医療で、人が入れ替っても変わらない文化として定着しているというのが実感です。

ある文化を持つ集団に別の文化を持つ集団から移る時、人は色々な情緒体験をします。前者を迫害的に感じ、後者を喪失するという体験は不安と抑うつをもたらすことは誰もが経験することで、今回私もそれについて時間をかけて心の作業をする経験をしました。その不安・抑うつと情緒的に接触しないために前者を理想化し後者を脱価値化する、あるいはその逆というような非生産的な対処法もありますがそれでは経験から学べません。

患者さんにとって長年の主治医から新しい主治医への変更、精神科スタッフの皆さんにとって総合心療センター長の交代など、迎え入れる側の心的経験の中でも同様の葛藤があると思います。

治療関係やチーム医療の中で意識的か無意識的に関係なく、今ここで体験していることを患者さんやチームの皆さんと共有し互いに経験から学び、近森の精神科チーム医療の文化をより豊かにできればと考えています。

えびす まさし

退任のご挨拶

近森病院 総合心療センター
前センター長 明神 和弘



令和 2 年 3 月 31 日をもって総合心療センターのセンター長を退任させていただきました。平成 10 年に田村雅一先生の後を引き継

ぎ、近森病院第二分院の院長となり、平成 25 年からは近森病院総合心療センターのセンター長として 22 年間、精神科のリーダーを勤めさせていただきました。随分と長かったような気もしますがあっという間だったような感じもして、複雑な思いがしています。

以前も「ひろっぱ」に書かせていただきましたが、この 22 年間は近森病院の精神科はどうあるべきか、診療システムをどう構築しどう発展させていくのかをずっと考えていたように思います。おかげ様でスタッフの協力もあり当院の精神科の診療スタイルはある程度確立できたのではないかと考えています。

私が精神科医になった頃と比べると精神疾患も随分と変化してきています。今まで通りの方法では対応が難しくなっており、今後も心療センターは状況に応じて柔軟に変化していくことが大切だと思います。

私の後任として戎正司先生がきてくれました。新しいセンター長とスタッフが力をあわせて新しい時代に応じた精神科を作ってくれることを願っています。私も病院に残り診察は今まで通り行っていますので何かお手伝いできればと思っています。

最後になりましたが、精神科に対してご理解いただきお力添えをいただいた近森正幸理事長に心から感謝申し上げます。また、各科の先生方にもお世話になり本当にありがとうございました。 みょうじん かずひろ

お弁当拝見 82 弁当係り



診療支援部システム管理室
室長補佐 小原 健稔



私の家では、主に家内が子ども二人分と私の分も作ってくれることが多いですが家内が夜勤でない日は私が作ることにします。

基本的にウィンナーを炒めて、卵焼きを焼いて、あとは隙間を冷凍食

品の野菜で埋めます。

私が作るときはこのパターンが多いのですが、最近はレンジで温めるだけの揚げ物系冷凍食品に頼りつきりです。でも意外と美味しい。

先日、長男が家内に「お父さんが作るのは冷凍ばかり」と文句を言っていたそうです。

冷凍ばかりやないけど、ごめんよ！！ おはら たけとし

近森病院附属看護学校入学式

第6期生を迎えて

近森病院附属看護学校
学校長 山崎 正博



4月8日近森病院附属看護学校は6期生45名の新入生を迎え、新しい門出を祝しました。新型コロナウイルス感染対策から入学式の規模を縮小しましたが、新入生代表からこれからの修学に向けて力強い宣誓を受けました。現在のパンデミックになってきている状況下では、個人レベルの感染防止対策から市民の行動

制限などの社会的対応など、医療の世界に足を踏み入れる学生には、広域感染を学ぶまたとない機会であると説明しました。

6期生に対しては、基礎知識をつけチーム医療に必要とされるコミュニケーション能力のために国語教育を重視すること、健全で無理なく学ぶために自律した生活習慣をつける

重要性、社会性を備えた人材になれるよう多種多様な人々と交流することなども説明しました。6期生は20名が社会人入学生です。先輩後輩のより活発な交流を期待しています。

教育、実習のため近森ヘルスケアグループには多大なご支援をお願い申し上げます。 やまさき まさひろ



献血キャンペーン

4月16日（木）新人向け献血を実施しました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響によるイベントや外出自粛のため、献血参加者が減少して血液が不足している今、少しでも貢献できたかと存じます



次回献血のお知らせ

5/28 (木)

午前10:00～12:00

午後1:15～6:00

皆さまのご協力をお待ちしています。

「乞! 熱烈応援」

田舎を楽しむ



高知ハビリテーションセンター
生活・訓練部 施設入所 主任
笠松 早由

春野町にあります施設は、田舎風景が広がり四季を感じることできる緑豊かな場所です。利用者様からは「周囲に何もなくて不便」といわれることもありますが、ゆったりとした時間の中でリフレッシュし訓練に取り組まれています。「ハビリにきてよかった」と多くのお声をいただけるよう、日々精進し施設運営に努めて参ります。

かさまつ さゆ

近森卒業生の今をご紹介します

ソロファーストアルバム リリース!

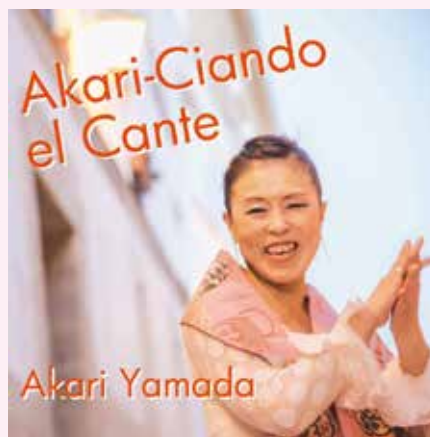
フラメンコ歌手
山田 あかりさん
(元 電話交換室スタッフ)



◀山田あかりさんホームページ

フラメンコの歌い手になるため、近森病院の皆さんの励ましをいただき、退職してからほぼ20年。昨年の夏、人生をかけてスペイン、ヘレスにてCDを作成、リリースすることができました。

近森病院とは不思議な縁でつながっています。収録曲の中の1曲は、近森病院の先生にお世話にな



り、自宅で看取ることができた父のことを歌っています。

私の思いが詰まったCDを私も慣れ親しんだ「ひろっば」に掲載していただけることを嬉しく思います。在職

時お世話になった皆様に感謝いたします。ほんとうにありがとうございます。

やまだ あかり

2020 年春 130 名の新人を迎えて

▼コロナウィルス感染対策のため、3密を避けて必要な距離を設け会場を分散しました。近森リハビリテーション病院、近森オルソリハビリテーション病院の会議室へは、メイン会場の管理棟からライブ配信（左上写真）をしました。



**開催
延期
のお知らせ**

第22回 近森病院 心臓血管外科 20周年
公開県民講座 循環器内科PCI 30周年

~~6月13日(土) 14:00
-16:00
県民文化ホール グリーンホール~~

新型コロナウイルスの影響により **10月24日(土)**に**延期**になりました。
※10月開催の詳細については、改めてご案内させていただきます。

私たちも診察します



吉富愛子先生 曾我賢彦先生 内田悠理香先生

パワーアップした 近森病院 歯科

近森病院 歯科 岸本 智子



一層の充実を図って

2020年4月から歯科医師の常勤化や増員により、診療体制が充実します。本年度より内田悠理香歯科医師が新しいメンバーとして加わりました。

開始薬の副作用や口腔内感染の評価も

当院歯科は手術前後（周術期）の患者さんと入院患者さんに特化し、歯科衛生士とともに日々診療をしています。

最近では周術期の口腔管理にとどまらず、口腔内に副作用が出る薬の使用前の評価や不明熱の原因となるような口腔内感染の有無の評価など様々な院内紹介を受けるようになりました。

普段、歯科医院に行くときは目的があり患者さんの能動的な受診がほ

とんどですが、医科からの紹介は全身の治療のために、歯医者嫌いでも十年も歯科を避けて通った患者さんが受診する場合があります。周術期に影響を及ぼす感染巣や思わぬ口腔内のトラブルが潜んでいる可能性があります。

退院後も地域の歯科に通えるよう

紹介状をお渡し

そういった患者さんにも、口腔内と全身の関係を説明し動機づけを行うことで、地域に帰ってから歯科の定期受診を続けられるように積極的に退院時に紹介状をお渡しするようにしています。

周術期を支える歯科から

全身治療を支える歯科へ

本年度は周術期を支える歯科から全身の治療を支える歯科として、患

者さんをパワーアップした歯科チームで支えたいと思います。

きしもと ともこ

リレー エッセイ

マイブーム

近森病院 透析室 看護師 安光 晃利

「サバイバルゲーム」をみなさんはご存じですか。通称「サバゲー」といい、チームを分けて、玩具の銃にBB弾を入れて打ち合うゲーム。近年若い男性を中心に人気を集めており、アウトドアの雑誌やテレビ番組でも取り上げられる機会が増えている。サバゲーは男性に圧倒的な人気があるが、最近では女子にも人気が出てきている。



近森会スタッフの皆さん、ご興味あれば透析室 安光までお声がけを！

サバゲーに出会ったのは今年の梅雨が明け。きっかけは息子のゲームからだ。息子から銃の名前が出たとき、昔遊んだ記憶がよみがえり一丁購入したのが始まりだった。懐かしさから撃つ楽しさと、遊ぶルールを子供に教えていくうちに、サバゲーというスポーツを知った。

いろいろ調べていくうちに、銃を

欲しくてお小遣いで買ってしまった。しかし、買った物の使い場所がなく眺めるだけの日々。遊ぶ所はないかと調べると、サバゲーの出来る会場が高知にもあること知った。人数がいれば、貸し切り

も出来ると聞き、人集めをして貸し切り戦を開催。

銃を持って野山を駆け回る。ハラハラドキドキしながら敵陣へ攻め込んだり守ったり、仲間を助けつつ撃たり撃たれたりとてもたのしかった。今では楽し過ぎて、みんなにも知ってもらいたくグループまで作り、友人もたくさん増え、息子との交流の場でもあり趣味となりました。

そこのあなた、一緒にサバゲーフィールドで駆け回りませんか？気になったら、KFB 高知フロンティアベースを検索だ！

やすみつ あきとし



2018 年度初期臨床研修医の修了を迎えて



初期臨床研修管理委員会 委員長
近森病院 救急科 科長

三木 俊史

近森病院プログラム 9 名と高知大学
襷掛けプログラム 1 名が初期臨床
研修を修了し、3 月 26 日に修了式を
執り行いました。

9 名のうち 4 名が高知県で（近森病院 2 名）、5 名が県
外で勤務することとなります。それぞれが個性的な学年
でいろいろ思い出はありますが、研修当初の初々しい笑
顔を思い出し、現在の頼もしい姿を見ると感慨深く、今
後の活躍が楽しみでなりません。研修を終えた彼らの目
には、自信に満ちた未来の自分の姿が映っていると思
います。

それぞれの道は違いますが、当院で培った力を存分に
発揮し、各方面での活躍を期待しています。

みき としふみ

感謝、そしてこれからも

岡本 莉奈



右も左も分からない状態からス
タートした研修医生活。日々周り
の皆様にご尽力いただきながら 2
年間を無事に終えることができました。

顔が見え、すぐに相談できる贅沢な環境の中、た
くさんの貴重な経験をさせて頂き感謝の気持ちで
いっぱいです。

4 月からは消化器内科医として勤務させて頂きま
す。どうぞこれからもご指導・ご鞭撻のほどよろし
くお願いいたします。

おかもと りな

また逢う日まで

奥根 亨也



光陰矢の如しとは言いますが、
近森病院での 2 年間は本当にあっ
という間に過ぎました。振り返れ
ば、それほど充実した時間だった
といえますが、毎日目の前のこと
でいっぱいだったと思います。

来年度から、高知大学で脳神経外科医としてスター
トします。たくさんの経験を積み、また近森病院で
働けたらと思います。この 2 年間ありがとうございました。

おくね ゆきや

2019 年度

培ったものを大切に

河瀬 弘代



あっという間に 2 年が過ぎました。
それは日々の業務に慣れるのに必死
だったこともあります。連日のよう
に病院に集まる症例・患者さんの数や、
その治療に研修医が多く介入できるこ
とが主な理由かなと思います。それだけ充実した研修期
間でした。ここでの経験・仲間は一生の宝物です。

かわせ ひろよ



みなさんの一員として

ベスト研修医賞

河本 マリナ



この 2 年間で院内外合わせて、17
つの科を回らせていただきました。2
年間新しいことに触れ続け、尊敬して
やまない先生・コメディカルの方々の
中で、大切な同期と過ごす毎日とはと
ても刺激的でした。

本当に勉強不足でまだまだ未熟な私ですが、みなさん
の一員として働きたい！と思い、近森病院循環器内科を
専攻しました。初診を忘れず、笑顔でがんばります！

こうもと まりな

足を動かして

中谷 真大



近森病院の 2 年間を通して一番意識
したことが現場に出向くということだ
でした。初めは何をしていいかわかりま
せんでしたが、上級医やコメディカル
の皆さんのしていることから学んで行き
ました。徐々に手が動くようになり、頭が働くようになっ
ていきました。3 年目以降も驕ることなく一步一步前進
できればと思います。

なかたに まさひろ

大きな財産に

瀬川 朗



2 年間充実した研修医生活を送る
ことができました。指導医の先生方
を始め、上級医のみなさん、コメディ

研修医修了式

2019年度 近森病院研修医修了式



▼ベスト研修医賞を受賞した河本マリナ医師。三木委員長と、プログラム責任者の杉田部長とともに。おめでとう！



素敵な仲間に支えられて

竹森 悠伊

はじめは仕事に慣れず、学ぶことが膨大で苦しい時期もありましたが、優しく時に厳しく指導してくださった先生方、明るく気さくなスタッフさん方、何でも話せる同期のおかげで無事終了出来ました。

今後近森病院で働けるのか定かではありませんが、2年間学んだことを糧に今後も高知の医療に携わっていきたいと思います。2年間ありがとうございました。

たけもり ゆい



2018 年度初期臨床研修医

高知大学たすきがけ1年目修了

大きな自信につながった2年間

船曳 隼大

2年目の研修では「自分でどうするか考えろ、このままでは3年目に苦労するぞ」と指導医に叱責されることも多く、自分で患者の命を背負う責任感を感じる場面が増えました。その中で自分一人でも多くのことに対応できるようになったと実感しております。

まだまだ未熟ですが、今後どんな困難な場面にも自分で向き合っていく自信になりました。

ふなびき としひろ



病理×地域医療 = ???

中山 雄二

様々な疾患の初期対応といった基本的研修のほか、地域医療研修で県中心部以外の西部・東部地域の医療状況について学んだのが大きな収穫でした。そして何より、苦楽を共にした、とても個性豊かな（笑）同期とめぐり会えたことは私の一生の宝物です。4月から東京で病理医として学び始めています。関わったすべての方々へ厚く感謝申し上げます。

なかやま ゆうじ



カルのみなさん、患者さんやそのご家族からも多くのことを勉強させていただきました。

近森病院でのこの2年間の経験は、僕の医師生活において大きな財産になりました。研修を終えて、先ずは関東で泌尿器科専門医を目指し、一層努力したいと思います。

せがわ ほがら

お世話になりました、近森

堤田 慎

早いものでこの3月末で近森病院での研修が、一区切りとなります。

指導医の先生、コメディカルスタッフの方々、患者さんからたくさんのことを学ばせていただきました。医療者として、社会人として未熟な私を指導いただき、非常に濃厚な1年間を過ごせたことを感謝申し上げます。

4月からの高知大学の研修でも近森病院での経験を活かせるよう頑張りたいと思います。

つつみだ しん



乞！熱烈応援

17年ぶり



近森病院
泌尿器科 部長
佐竹 宏文

以前近森病院には医師になって5年目で、約2年間お世話になりました。その後大学院を卒業し、多くの臨床経験を積んで17年ぶりに帰ってきました。専門は泌尿器科腹腔鏡手術ですが、泌尿器科疾患何でも柔軟に対応できます。これまでの経験を活かし、近森病院の発展に尽力していきたいと思います。

さたけ ひろふみ

一体感



近森病院
循環器内科 科長
三戸 森兎

生まれも育ちも広島で、もちろんカープファンです。佐々岡新監督のあげる、今年のスローガンは一体感。近森病院へきて間もないですが、病院全体の一体感を感じました。専門は不整脈で、一体感のある不整脈チームを作っていきたいと思っています。不整脈に興味のある方、そしてカープファン、ぜひ声をかけてください！

みと しんじ

脳卒中エキスパートへ



近森病院
脳神経外科 科長
松岡 賢樹

私の脳神経外科医キャリアは10年になりますが、その間ずっと高知医療センターで勤務してきました。

この度、縁あって近森病院で働かせていただくこととなりましたが、いずれも高知県の救急医療の中心を担う病院でありますので、ここでも日進月歩である脳卒中治療の最先端を学び、皆様のお力になれるよう精進して参ります。 まつおか としき

感謝を忘れず



近森病院 ICU
看護師長
山中 京子

16年間集中病棟で勤務し、ここまですべて続けたのは育ててくれた上司や支えてくれたスタッフのおかげだと感謝しています。今度は自分にまかされた使命を胸に、自分らしくスタッフと一緒に新しい病棟を作っていきたいと思っています。特定行為研修も修了しましたので、病棟の質向上などサポートしていきます。

やまなか きょうこ

仲間と共に

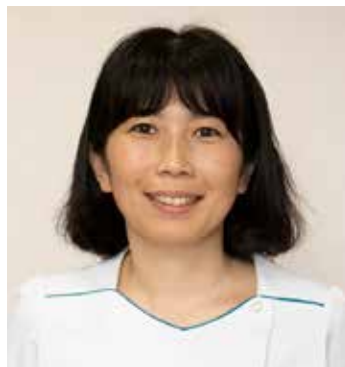


近森病院 6階 A病棟
看護師長
岡崎 継

病棟は一人の管理者にどんなに能力があったとしても、一人で背負おうとすれば、必ず失敗してしまいます。“師長になった者”が皆から認められるのではなく、“皆から認められた者”が師長になるのだと心に刻み、上司や同僚、コメディカルスタッフなどの仲間から認められる師長を目指し頑張っていきたいと思っています。

おかざき けい

初心を忘れずに



近森病院 6階 B病棟
看護師 主任
友草 杏理

近森病院に入職し早くも17年になります。何事にも一生懸命に取り組むことをモットーに頑張ってきました。今回このような辞令を頂き、身が引き締まる思いでいっぱいです。これからも初心を忘れず、何事にも前向きに取り組み、患者さんやご家族が安全で安心して治療が受けられるような看護を行っていききたいと思います。 ともくさ あんり

乞！熱烈応援

新たな部門での出発



社会医療法人近森会
看護人事部 部長
尾崎 貴美

近森会グループは900人近い看護スタッフが在る組織で、主に労務管理（産休・育休・働き方改革等）、人材育成（キャリア開発課、教育委員会、評価委員会との連携）、給与体系の見直し（ラダーと給与体系の連動）などを担当します。重要な大役ですので、皆様のご意見と知恵と情報をいただき、一步一步確立していきたいと思います。 おさき きみ

和と思いやり、そしてひとま



近森オルソリハビリテーション病院
副院長 兼 看護部 看護部長
中谷 明未

オルソ看護部の基本姿勢は、「気づく・学ぶ・考える」です。新人、中堅、熟年と、それぞれの立場で自分のやるべきことに取り組み、患者さんもスタッフもその人らしい生活ができるよう業務に従事しています。前部長の築きあげた看護部を継承・維持し、みんなで前進するように現状の課題改善に取り組みます。

なかや あけみ

選ばれる病院になるために



近森オルソリハビリテーション病院
看護部 副看護部長
山崎 成美

患者さんから高い満足度をいただくためには、現状維持ではなくめまぐるしく変化していく医療情勢にも目を向け、常により良い看護サービスを目指していく必要があります。患者さんが住み慣れた環境へ安心して帰れる事を目標に、選んでもらえるようなリハビリ病院にしていきたいと思います。

やまさき なるみ

一步一步ゆっくりと



近森病院 救命救急センター ER
看護師 主任
酒井 由夏

救急看護に携わり9年。たくさん悩みながら一步一步ゆっくり歩んできました。先輩方や仲間の支えがあり、ここまで続けてくることができました。

まだまだ未熟なところも多いですが、これからも初心を忘れず、誰でも安心して救急医療・看護が受けられるように仲間とともに成長していきたいと思います。 さかい ゆか

更なる成長へ



近森リハビリテーション病院
4階病棟西 看護師 主任
岡林 巧也

今回、主任の話を聞いた時は不安もあり悩みましたが、先輩方や周りのスタッフの後押しもあり決心をしました。まだまだ経験も浅く未熟な自分に主任としての役割を果たせるのか不安もありますが、これからも看護師としての成長はもちろんのこと、「皆の頼れる主任」へ成長できるように頑張りたいと思います。

おかばやし たくや

特定行為研修の推進に向けて

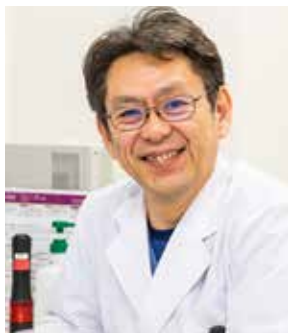


特定行為研修指導責任者
看護師 主任
山脇 久男

近年医師の働き方改革、タスクシフティングとして「特定行為研修を修了した看護師」の活用が注目されています。

こういった社会情勢を踏まえて特定行為研修の推進を図っていきたいと考えています。

やまわき ひさお



近森病院 総合診療科 部長 浅羽 宏一

がん治療における漢方薬の役割

がん治療における漢方薬の役割は二つあります。一つ目が体を元気にすること、二つ目が抗がん剤の副作用（食欲不振、吐き気、下痢、口内炎など）を軽減させることです。今回は紙面の関係で体を元気にする漢方薬についてお話しします。

がん細胞は食べた物が栄養になることを邪魔しますので、患者さんは食べても太れず、痩せて元気になれません。そこで食べた物がしっかりと栄養になるために「十全大補湯」か「人參養榮湯」を服用します。名

前からして元気になりそうですね。

この二つの漢方薬ががん治療漢方サポート療法の基本処方になります。出来ればがん患者さん全員に服用していただきたい漢方薬です。

次に免疫力を高めて風邪を引かないようにするために「補中益気湯」を服用します。これは必要に応じて服用します。インフルエンザの発症予防効果があり、私はインフルエンザ流行期には予防的に服用しています。

血流を良くすることは体を元気にするためには重要ですが、抗がん剤は血流を悪くします。静脈瘤など、

血流障害のサインがあれば血流を良くするために「桂枝茯苓丸」を服用します。

便秘も元気を奪います。便秘のため大便中の老廃物（毒）が再吸収され、その毒が体にダメージを与えるからです。便秘には「桃核承気湯」を服用します。便秘を解消して体に毒を溜めないようにしましょう。

最後に冷え症を治療します。がん細胞は寒いのが大好きです。がん細胞を弱らせるためにも「牛車腎気丸」で冷え症を退治します。

あさば こういち



岡田玲一郎先生を偲んで

社会医療法人近森会

監事 川添 昇



岡田先生の訃報を受けたのは社会医療研究所を引継がれた小山秀夫先生のお手紙からでした。

近森病院の職員研修を引受けていただいて 30 年以上になります。以来先生は私にとって父親的存在として敬愛してまいりました。

先生を通じて沢山の方々と知り合いになることが出来ました。どんなことでも何時でも電話をかけて話のできる私の宝物的存在の友人達です。

昔、近森正幸理事長が「近森病院が辛いことがあると岡田先生

がいつも闇夜の暴風の灯台になってくれた。」と言っていました。まさにそのような存在の先生でした。

病気を患っていると聞き、去年の 10 月 24 日、日帰りで東十条の先生の事務所で会ってきました。一階にある天ぷら屋で、もう俺も長くはないと言いながら焼酎の湯割りを美味しそうに飲んでいました。隣で食事をしていたご婦人に「スミマセンこんな大声で」とお詫びをすると「私も病院帰りです。お気になさらないで下さい」とおっしゃっていただきました。

先生と別れる時に「もう全国各地へ行ってご迷惑にならないように」と息子っぽく言ってしまいました。

そして、氷雨の東十条の商店街を

とぼとぼ歩いて京浜東北線に乗ったことでした。

先生との思い出は果てしなく走馬燈のようにめぐって来ます。30 年以上前に岡田先生主催のアメリカ・カナダの旅行で知見した医療事情がそっくり現在の日本の医療になってきているのが、今さらながら驚いています。もっともアメリカは DRG ですが日本は DPC です。「地域包括ケア」も 40 年近く昔、病歴管理の勉強に行った早稲田大学近くの戸山町にあった厚生省病院管理研究所で教えていただきました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

かわぞえ のぼる

看護師特定行為研修 4 期生 10 名が巣立ちました。



看護師特定行為研修責任者
川村 佳代



近森病院 6 階 A 病棟
看護師長 岡崎 継
(修了生代表)

本年度の看護師特定行為研修は、栄養コース 7 名、創傷コース 3 名で 6 月 1 日に開始し、3 月 27 日 10 名揃って修了式を迎えることができました。受講生は、仕事と両立しながら、1 日 3 時間の e-learning、模擬授業では、人生初のプレゼンテーションに挑みました。

実習においては、特定行為を行う上で問診と身体所見がいかに重要であるか体感できたようです。本年度は、香川県、徳島県からの受講生もあり、新風が吹き込んだ研修となりました。手塩にかけて育てた彼らが今後、特定行為研修修了者として自施設で大いに活躍してくれることを切に願いたいと思います。特定行為研修にご協力いただいたすべての皆様に厚く御礼申し上げます。

かわむら かよ

私は、臨床経験を 23 年積んできましたが、教育的立場となったここ数年は、指導する看護師として言語化する難しさを感じていました。

特定行為研修は自身を見つめなおす機会だと思い受講を決意しました。今回の研修を通して学んだ、病態・解剖生理、また臨床推論などは、行われている治療内容や、その治療に至った医師の思考過程、今後予測される病状変化について、今まで以上に理解して、患者対応ができていけるのではないかと感じています。この特定行為研修で学んだことを誇りに思い、より広く

社会へと還元していく責任を強く自覚し、期待に応えられるよう頑張っていこうと思っています。 おかざき けい



▲ 2016 年度から始まった看護師特定行為研修の第 1 期生で、続く 2017 年度から担当者として研修生の受入れをしていた川村さんが 2020 年度から看護学校に異動することになりました。サプライズで記念品を入江特定行為研修委員長より贈られました。



私の趣味

僕の休日の過ごし方

近森病院 5 階 C 病棟 看護師 西 輝

寒い冬が終わ
り、だんだんと暖
かい季節がやって
きましたね。皆さん
は、休日はどんなことをして過ご
されていますか？

僕は漁師をしていた祖父の影響もあり、幼いころから海や川が大好きで、毎日学校が終わるとよく友達と家の下の川に行き魚釣りや網を使って魚採りなどをして過ごしていました。その頃は大人になったら漁師になりたいと思っていましたが、今では看護師として日々、忙しい毎日を

過ごしています。

休日になるとストレス解消のために、愛媛県などに遠征し車中泊をしながらエギングやアジング、ジギングなどの疑似餌（ルアー）を使った釣りを楽しんでいます。釣れた魚やイカは家に持ち帰り自分で料理をすることもあります。

最近では同部署の先輩も勧誘し一緒に仕事前に釣りに行くこともあり、充実した日々を過ごすことができます。

釣りをしたことのない方は、エサが臭くていやだなと思っ

ている方もいらっしゃるかもしれませんが、疑似餌（ルアー）なら生臭くなることもありませんし、ドライブに行ったついでや、少し暇潰しをしたいときにも楽しめると思いますのでぜひ一度やってみてください。

にし ひかる



ニューフェイス

①所属②出身地③最終出身校
④自己アピールなど



森山 重治

もりやま しげはる①呼吸器外科医師（部長）②岡山市③岡山大学④岡山生まれ岡山育ちで、県外への単身赴任は初めてです。週末は岡山に帰って趣味のテニスにはげみます。



戎 正司

えびす まさし①精神科医師（総合心療センターセンター長 兼 精神科部長）②徳島県③信州大学④27年ぶりに近森に帰ってきました。当時、田村雅一先生にチーム医療を教えてもらい、現在に至っています。



吉村 和修

よしむら かずのぶ①腎臓内科・人工透析内科医師（腎透析センター部長 兼 臨床工学部 部長 兼 腎臓内科・人工透析内科 部長）②高知市③東京慈恵会医科大学④2年半ぶりに近森に復帰しました。この間千葉県で学んだことを生かして高知の医療に貢献したいと思っています。



佐竹 宏文

さたけ ひろふみ①泌尿器科医師（部長）②高知県③高知大学④17年ぶりに近森病院に帰ってきました。泌尿器科疾患のことなら何でも任せてください。



三戸 森児

みと しんじ①循環器内科医師（科長）②広島県③広島大学④専門は不整脈で、高知のアブレーション、デバイス治療に貢献したいと思っています。趣味は釣りです。



細田 勇人

ほそだ はやと①循環器内科医師②茨城県③東京医科大学④大阪で5年間働き、毎年甲子園をみるのが楽しみの一つであ



松岡 賢樹

る細田です。循環器内科で働きます。いつでも相談して下さい。

まつおか としき①脳神経外科医師（科長）②香川県観音寺市③高知大学④医者人生12年目にし、初の転勤先が近森病院でよかったな、と感じている今日この頃です。よろしくお願いいたします。



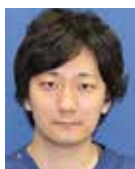
岡崎 良紀

おかざき よしき①整形外科医師②香川県③岡山大学大学院④趣味は、バスケットボール、ゴルフ、サッカー鑑賞です。症例数の多い当院で精進しつつ、アクティブに行動したいです。



尾藤 博信

びとう ひろのぶ①整形外科医師②静岡県浜松市③関西医科大学④骨折治療について学ぶために大阪から来ました。楽しく働きたいと思っています。どうかよろしくお願いいたします。



原田 薫

はらだ かおる①整形外科医師②山梨県③山梨大学④前勤務地では病院前診療などをがんばっていました。



大川 良洋

おおかわ よしひろ①消化器内科医師②佐川町③高知大学④1年ぶりに高知に帰って来ました。やっぱり高知は最高ですね。



青山 夏希

あおやま なつき①消化器内科医師②高知市③高知大学④旅行をするのが好きです。最近はなかなか行けていませんが、おすすめの場所がありましたら、教えていただけると嬉しいです。



西村 拓哉

にしむら たくや①循環器内科医師②高知県③高知大学④初期研修以来の近森病院であり、初心にかえって取り組みたいと



田中 智規

思います。

たなか ともしき①消化器外科医師②愛知県名古屋市③高知大学④名古屋市で初期研修を終え、出身大学のある高知に帰って参りました。旅行と筋トレと鯉が大好きです。



鄭 芳毅

てい ほうい①麻酔科医師②産まれは中国、育ちは大阪③岡山大学④もともと高知が好きでよく遊びに来ていました。今回近森病院で働けることがとてもうれしいです。柏島でダイビングライセンス取得などアウトドアができれば良いと思います。



安田めぐみ

やすだ めぐみ①麻酔科医師②高知県③高知大学④医療センターからやってきました。3カ月と短い期間ではありますがいろいろな経験したいです。

● おめでとう ●

2020年3月の診療数 システム管理室

近森会グループ

外来患者数	17,035 人
新入院患者数	979 人
退院患者数	995 人

近森病院（急性期）

平均在院日数	13.86 日
地域医療支援病院紹介率	87.10 %
地域医療支援病院逆紹介率	300.57 %
救急車搬入件数	527 件
うち入院件数	292 件
手術件数	447 件
うち手術室実施	307 件
うち全身麻酔件数	216 件

● 2020年3月 県外出張件数 ●
件数 4 件 延べ人数 5 名

編集室通信

新緑燃ゆる季節の到来。今年のゴールデンウィークは5連休と、昨年に比べて落ち着いた様子。「八十八夜の毒霧」は遅霜の警戒を暦に記して農作業が本格化される。

「立夏」とは今が春のピークでこれから夏に向かうという意味。真鯛やメバル、タケノコ、新ジャガイモ、ソラマメと季節感溢れる食材を楽しみに、今夜も一献。

Ratti

必死で聴き、何を望まれているか掴みたい

▼撮影時にはマスクを外し、いつもの笑顔で



自分に向いている仕事！？

近森病院附属看護学校1期生。

配属先の打診には「集中治療系」を希望し、救命救急病棟に決まった。この春から3年目に入っている。入院の入り口ともいえる病棟で、息を詰めるような緊張感も、プチ達成感も味わいつつ、時間の感覚がないほどに飛ぶような日々が流れている。

早朝は眠いし、夜中にしんどいこともある。それでも、「やっとこの頃、カラダが慣れてきた感じです！」と、マスクの奥の笑顔が弾ける。

救急車で運ばれた患者さんには例えば点滴や酸素。よくなってくると食事の合間に話が聴けるように。体調だけではなく、経験談や生活にまつわるあれこれも。さらに一般病棟から退院へ。この「よくなっていける患者さんを、近くでみれるのは、自然な感情として本当に嬉しいし、力を与えられます」。自分自身の小さな成長をも実感できるのだろう。

「技術的なことは先輩に敵いません、教えていただくばかりです。だから、せめて話くらいはきちんと聴けないと…。そんな必死な思いが滲

み出ているようでもある。

覚える仕事が多いなかで、「基本はコミュニケーション力」と考えているようだ。「聴くのも話すのも大好き。そういう点は自分に向いている仕事に出会えたのかも知れません」と、嬉しそうだ。

目の前の相手のことを知るツール

「話せば話すだけ相手のことが分かる。これを『ツールとして人生観が見える』というようなことを、中学時代に読んだか、聴いたかの記憶がある」。それが、生涯の職業を考えた時、結局は母親やおば達と同様の看護師の道を選ぶことに繋がったのかもしれない。

高校を卒業した段階で、それでも、すんなり看護師になりたいとは、実は思えなかったという。

踏ん切りがつかないというのか、大学進学を含めて悩みもあった。そんな時期、たまたま「近森病院附属看護学校開設」の新聞記事を見た。

近森病院は、須崎駅から高知駅までの高校時代の汽車通学で、列車を降りた途端に真ん前に見え、屋上のヘリコプターも印象に残っていた。

「新設」への期待も膨らんだという。単純に迷いは吹き飛び、一期生入学と相成った。

看護学校の先生方は、「学生主体」を重んじ、医療職として実際の現場をイメージしやすい授業内容が多かった。就職後も、「習った先生」が居て、ずいぶん現場に馴染みやすかった。

一期生の希望に燃える熱情

「患者さんから話を聴いて、全く知らなかった新しい世界が広がることもある」とか、「退院が決まったよ！」と声をかけていただけると、私を覚

えてくださってたんだ、ありがとうございますと嬉しくなる。「いま、本当に、感謝しかないんです」と、一期生は希望に燃える熱を発散させているようでもある。周りはきっと、



▲1月、まだ同期とも集まっていた新年会で

彼女をはじめ、若いスタッフの奮闘を応援したくなるのだろう。

オフは「自粛」を心がけています！

小学校時代、母親が夜勤の日に、患者さんに対応する姿をこっそり遠くから眺めたことを、なぜだか鮮明に憶えている。その母ならばこそ、看護学校時代のキツさもよく知ってくれているから、寮には「レンジでチンのおかずをいっぱい届けてくれた」し、いまはLINEで相談しあえるような友情も感じている。

また、看護学校と近森会入職時と、それぞれに仲良しの同期生もいっぱい、休みは友達中心に予定を組んでいたそうだが、コロナ禍で、オフは一変してしまっている。

いまは、医療職として責任ある態度を示すべく、しっかり「自粛」しているが、「根は花より団子」だから、また外で食べられる日を楽しみに、自宅周りの川沿いの快適な散歩で、ストレス発散を心がけてもいる。

強調したいのは、「お世話になった皆さまの期待に応え、恩返しできるよう、くじけないで頑張りたい」ということ。そして「感謝の気持ちだけは、常に忘れたくないです！」。

お久しぶりです。 高知に帰ってきました！

近森病院 腎透析センター 部長
兼 臨床工学部 部長
兼 腎臓内科・人工透析内科 部長 吉村 和修



ご無沙汰しています。この度透析科・腎臓内科に着任しました吉村和修です。

2008年より近森病院で透析科・腎臓内科として約9年間勤務したあと2017年8月より千葉県の市原市にある帝京大学ちば総合医療センター第三内科にて約2年半勤務しました。

同院では腎臓内科が不在となり2017年に教授として寺脇博之先生がその立て直しに招聘された事情がありました。教授の医局の後輩の私に声がかかり、内科の腎臓部門およ

び腎センター（透析室）での診療を行ってきました。着任当時4名だった医師のスタッフも2020年4月には9名の陣容になり一定の役目を終えたと思い再度故郷である高知県にもどってきました。

千葉での勤務先は大学附属病院でしたが、千葉県の南部の中核的な医療を担う唯一の基幹病院であり、研究よりは患者さんの診察・治療が中心の生活で、腎臓内科の専門医が非常にすくない医療圏でした。そのため多彩な腎疾患の患者さんの診療を

経験することができました。少数とはいえ複数の腎臓内科のスタッフで議論しながら治療方針の決めていく経験で知識をさらに深めることができたと感じています。

高知に戻りまた少ない人数での日々に戻りますが、少しずつ仲間を増やしながら高知県の腎臓領域の医療に貢献できるように頑張りたいと考えています。今後ともよろしくをお願いします。

よしむら かずのぶ

ザ・RINSHO

特別篇



99歳で心臓手術、100歳で退院

橋本静子さんの取材担当を通じて

総務部 総務課 広報

須崎市在住の橋本静子さんは大正9年（1920年）生まれの100歳です。今年の2月26日に急性心不全で救急搬送され、救急科、循環器内科、心臓血管外科へとハートチームが連携して診療にあたりました。3月17日には99歳という超高齢で心臓手術（僧帽弁置換術、三尖弁形成術）を受けられています。

当院での開胸による心臓血管手術において最高齢でしたが、「本人の手術を受ける意志が明確であり、以前の生活（独居）に戻れるように」との判断だったそうです。その後順調に回復し、誕生日2日後の3



▲手術翌日には歩行訓練も（撮影は3/26）

月30日に、100歳でお元気に転院されました。お見送りするスタッフに向けられた笑顔はとてもチャーミングで、こちらも嬉しくなるほど素晴らしいものでした。

▼病棟で「祝！100歳」



今回は3月24日に執刀医より連絡を受け、25日に資料作成、ご本人への聞き取り、および取材同意を貰い（ご家族にも）、26日には再度お話を聴き、まとめたものをマスコミ各社へ取材依頼配信、27日に新聞・



▲執刀医の入江副院長（左）と、主治医の川井副院長（右）と。4月21日、退院後初の外来診察にて

テレビ局各1社が、30日退院日にはテレビ局3社が取材に来られるという慌ただしいスケジュールでした。にもかかわらず、いつもにこやかに対応してくださり、本当に頭が下がります。テレビ放送後は一般市民の方より、「コロナウイルスの暗い話題ばかりの中、とても元気をもらった」、「今後の目標となる方ができた」などの反響が届きました。

今後も近森会のニュースをどんどんPRするとともに、県民の皆さまへの健康情報だけでなく、こういった様々なエピソードを紹介できればと思います。皆さまご協力ありがとうございました。